表彰について

- 本表彰は空港の自然災害への備えとして実施している取組や、実際に自然災害対応において実施した取組について、その取組内容や知見を募集します。（2020年3月以降に実施されたものに限ります。ただしそれ以前より継続して実施しているものを含みます。）
- 大規模な取組のみならず、小さな改善や工夫、関係機関との連携強化の方策や訓練を行う上での工夫等の取組も対象となります。
- 募集期間は2026年11月19日(木)～2026年12月24日(木)です。
- 応募に迷った際やご不明点につきましては、お気軽に以下連絡先までご連絡ください。

連絡先：航空局航空ネットワーク部空港技術課空港災害対策室　馬上、沼澤
E-mail：hqt-kukobousaihirogarume_hyosho★gxb.mlit.go.jp　（「★」→「@」）
TEL：03-5253-8111（内線：49544、49508）

応募方法

STEP1　取組内容調書（Excel形式）の作成
〇募集要領をご確認いただき、取組内容調書（様式1または様式2）を作成してください。
〇様式データは以下HPからダウンロードできます。
https://www.mlit.go.jp/report/press/kouku09_hh_000342.html

STEP2　応募内容の参考資料（自由形式）の用意
〇応募内容を補足する、参考資料をご用意ください。既存資料で問題ありません。

STEP3　取組内容調書（Excel形式）と参考資料（自由形式）をメールで提出
〇STEP1,2で作成した取組内容調書と参考資料を以下メールアドレスに送付してください
hqt-kukobousaihirogarume_hyosho★gxb.mlit.go.jp　（「★」→「@」）
〇容量が大きい場合は、事前に上記連絡先へご連絡ください。大容量ファイル送付用のURLをお送りいたします。

応募取組の例

（以下は例であり、事務局が仮想で作成したものです。記載内容にとらわれずご応募ください。また、同様の内容であってもご応募いただいて差し支えありません。）

【災害に備える取組】

- 津波避難経路等の見直し
  初めて空港を利用する方でも迷わず避難できるよう、避難経路や案内標識を見直し、また応急キット、ヘルメット等の防災用品を日々職員・旅客の見える場所に置くことにしている。
- 滞留者情報の把握効率化
  滞留者の支援ニーズを把握するため滞留者に記入していただくシートのひな型を作成し、必要な支援を迅速に行えるようにした。
- 空港アクセス機関等との連携
  交通機関の運行停止時に備え、関係機関との連絡体制や代替輸送の調整体制を構築した。
- 実践的な訓練の実施
  ボランティアに負傷者や要配慮者役を担ってもらい、より実態に即した訓練を実施した。
- 顔の見える関係づくり
  平時より合同訓練や懇親会を行うことで担当者間の交流を行っている。

【災害対応時の取組】

- 滞留者への情報提供
  デジタルサイネージを活用し、災害の状況や空港アクセスの運航情報について速やかに提供した。
- 空港間の応援・受援体制の構築
  近隣空港と連携し、被災時の情報共有体制を構築していたため、迅速な調整を行うことができた。